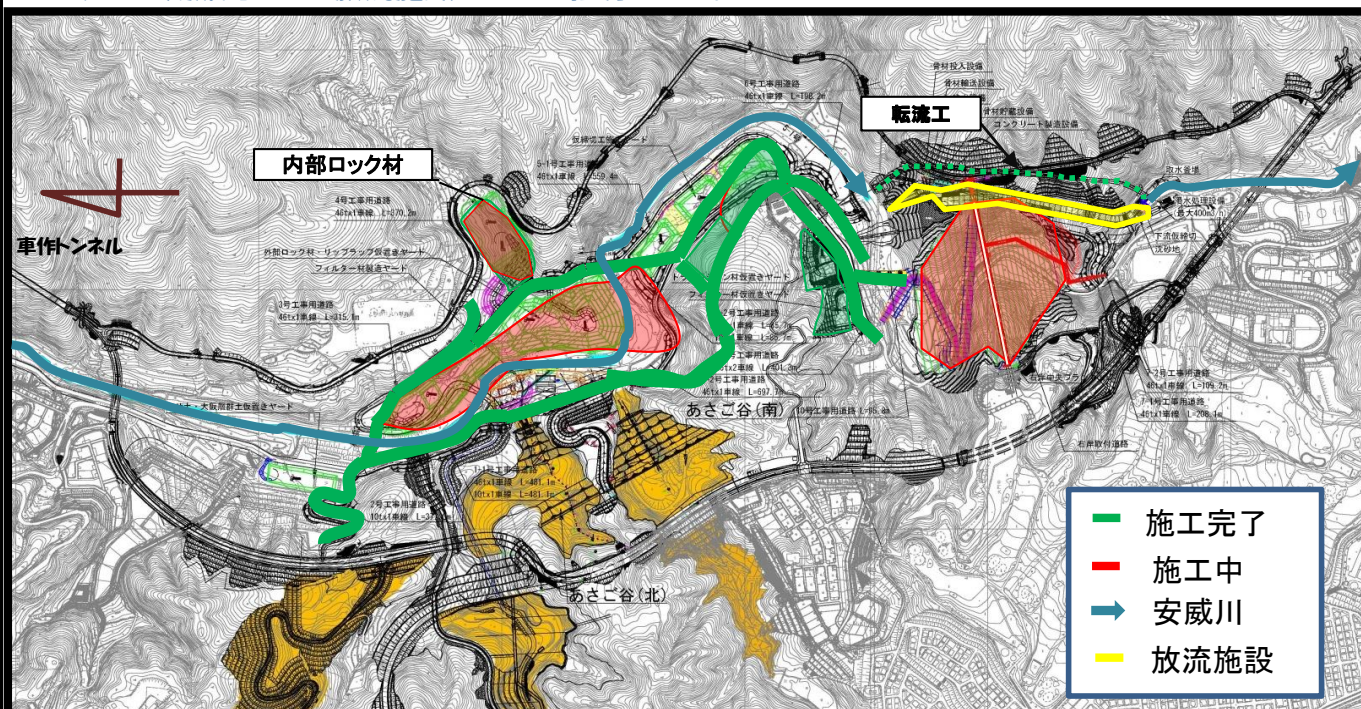


今の工事はどんな感じ？

現在、安威川ダムではダム湖から水を下流に放流するための施設の一つである常用洪水吐きの掘削に取り掛かっています。みなさんは安威川ダムの放流施設がどのような仕組みになっているのかご存知でしょうか？今回は安威川ダムの放流施設について紹介します。



安威川ダムの放流施設

安威川ダムは維持放流施設・常用洪水吐き・非常用洪水吐きの3つの放流施設により下流へ水を送ります
そして11月からこの放流施設の一つである常用洪水吐きの掘削に取り掛かっており
この常用洪水吐きを含め3つの放流施設を紹介します

維持放流施設

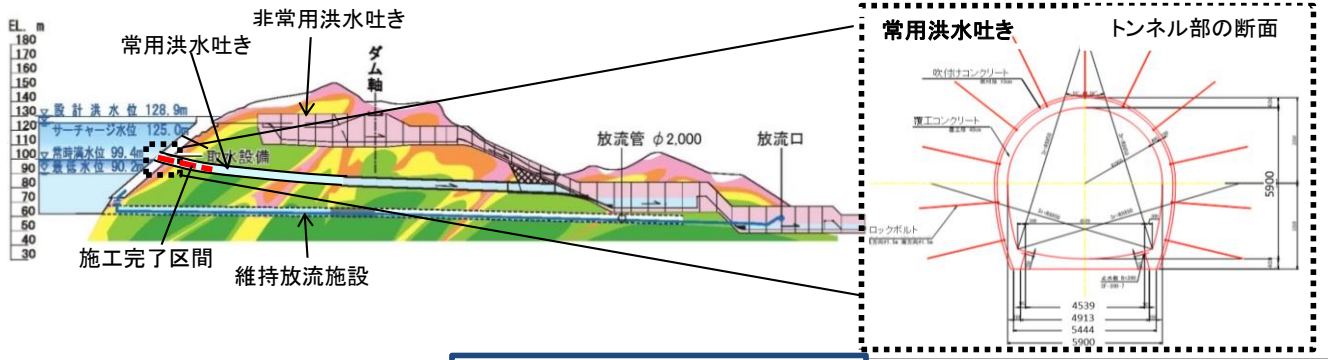
普段、川の維持用水などの水は
この施設からダム湖の水を下流へ放流します
ダム湖から放流する水は
放流に適した水温、水質の水を選択して
また取水も出来るゲートで
下流に流すことが可能です

常用洪水吐き

常用洪水吐きは、100年に1度程度の洪水まで
洪水調節を行うことが出来ます
安威川ダムではトンネル形式となっています
普段、常用洪水吐きは入口が常に開口しているため
ダム湖の水位はトンネルの入口より高くありません
この入口下端部の水位を常時満水位といいます

非常用洪水吐き

安威川ダムは土と石を積み上げた
ロックフィル形式のダムであるため
水の越流に対して強くありません
よって、常用洪水吐きで吐ききれない
100年に1度よりも大きな洪水のときは
堤体を越流させないために
別の水路から水を流す必要があります
この水路が非常用洪水吐きです
非常用洪水吐きは放流するための施設ですが
同時にダムを守る施設でもあります
また非常用洪水吐きの入口下端部の水位を
サーチャージ水位といいます



↓常用洪水吐きの工事風景↓



これは掘削時に安全に施工するため
表面から岩などが剥落しないようになっています
山の掘削は常に危険が伴うので
細心の注意を払いながら施工してまいります



この青い機械はトンネルを奥深くまで掘り進むと
酸素が薄くなってしまいうため空気を送り込んだり
掘削により発生する粉塵等を換気したいと
色々な機能を兼ね備えた機械です！



トンネルを掘り始める前に
工事を安全に行えますようにという祈りをこめて
安全祈願を行います
トンネルの入り口の上にあるのは
化粧木と呼ばれるもので
山の神(女の神様)に捧げるものとなっています



現場の進捗状況を定点写真で見よう



○→ 定点位置

→ 安威川の流れ

平成26年6月末の状況 (工事着手前)	平成27年1月の状況	平成30年1月の状況 (最新の状況)
<p>①ダム下流から上流を望む</p> <p>↓ダム天端ライン</p>		<p>↓ダム天端ライン</p>
<p>②安威川左岸から右岸を望む(東から西)</p>		
<p>③安威川右岸から左岸を望む(西から東)</p>		

現場の進捗状況を定点写真で見よう

平成26年6月末の状況 (工事着手前)	平成27年1月の状況	平成30年1月の状況 (最新の状況)
<p>④ダム上流から下流を望む (北から南を)</p> 		
<p>⑤左岸道路からあさご谷を望む</p> 		
<p>⑥車作代替農地から安威川下流を望む</p> 		
<p>⑦車作橋から安威川下流を望む</p> 		